



姉妹都市

セルビア共和国  
シャバツ市  
Шабац / Šabac

シャバツ市は、首都ベオグラードの西に位置し、車でおよそ1時間半のところにあります。

北東部にはベオグラード北部でドナウ川に合流するサヴァ川が流れており、舟運を効果的に活用した経済活動が営まれてきました。

また、農業も盛んで、セルビアの主要な農産物の一つであるベリーやイチゴの生産も盛んです。近年は日本の矢崎総業がシャバツ市に工場を建設するなど、日本の資本も入り、大きな成長を遂げています。

首都近郊に位置し、都市部と農村部が同居している都市構成にシャバツ市・富士見市の互いが共通点を見出し、外務省の仲介を経て、昭和57年10月、富士見市から行政職員を中心とした第1次シャバツ市友好訪問団がシャバツ市を訪問した際、「姉妹都市宣言」に調印をしました。

その後、「シャバツ富士見友好クラブ」が発足。富士見市国際友好協会とともに、両市の友好関係の発展に努めています。



市民・行政職員合同でシャバツを訪れた第2次シャバツ市友好訪問団(昭和58年10月)

# 1 助け合いの中で生まれた両国の絆 親日国・セルビア

日本とセルビアの交流は今年で137年。互いの国の動乱のさなかでも外交関係が保たれ、日本は内戦終結後のセルビアを積極的に支援しました。また、セルビアも東日本大震災時に多額の支援金を日本に送付。平成26年のセルビアの大洪水時にも日本からの支援があり(富士見市からも義援金を送金)、セルビア国内の対日感情は良好です。

# 2 日本の武道・漫画・アニメが大人気 日本文化が盛んな国・セルビア

セルビアには、柔道・空手・合気道などを教えるスポーツクラブが多数あります。また、日本の漫画やアニメに熱中する若者が多く、愛好家団体「サクラバナ」も発足。在セルビア日本国大使館の後援を受け、毎年「ジャポニズム週間」を開催しています。



広く親しまれている柔道

# 3 新鮮な食材がそろう農業大国 料理のおいしい国・セルビア

農業が盛んなセルビアでは、穀物自給率が100%を超えています。中でも、ベリー類は世界有数の生産国として有名です。まちの至る所に「ピアツァ」と呼ばれる青空市場があり、新鮮な農産物を手軽に安く手に入れることができます。養豚も盛んで、トルコ料理をベースとした豚肉料理も豊富。ラキヤと呼ばれる蒸留酒やワインもおおすすめです。



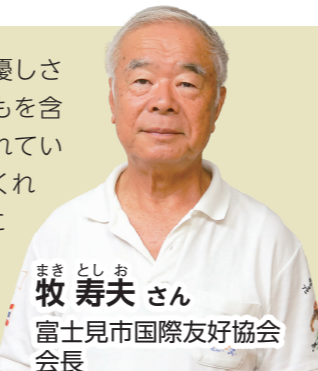
©長門テイヤナ

こと。以降、平成24年度の第6次訪問団まで現地への訪問を重ねています。平成26年5月のセルビア国内での大洪水発生時には、市と富士見市国際友好協会からの義援金をシャバツ市に送金しました。シャバツ市でも「シャバツ富士見友好クラブ」が発足。平成22年には同クラブが市を訪問し、富士見ふるさと祭りに参加するなどしました。また、東日本大震災時のシャバツ市からの市への義援金の贈呈(後日被災地へ送金)、シャバツ市内での「シャバツ市日本週間」の開催など、姉妹都市として互いを知り、思いやる関係を継続してきました。

## 若い世代にセルビアとシャバツ市を知ってもらいたい

私がセルビアおよびシャバツ市へ初めて訪問したのは36年前。当時セルビアを含むバルカン半島ではさまざまな事件が発生し、物質的には豊かではありませんでしたが、私たちが訪問したご家庭では、自宅の窯で焼いたパンや自家製のお酒をふるまってくれました。笑顔を決やさず穏やかな心

を持ち接してくれたセルビアの人々。その優しさがとても印象的でした。シャバツ市の子どもを含めた多くの方が富士見市のことを知ってくれていて、訪問の都度、親しみを持って歓迎してくれます。市民の皆さん、特に若い世代の方々にセルビアとシャバツ市をもっと知ってもらい、交流することで垣根なく人と関わる力を身に付けてもらいたいです。



まき としお  
牧 寿夫 さん  
富士見市国際友好協会  
会長

# КНЕЗ МУХАЈЛОВА



セルビア共和国の首都・ベオグラードの中心を走るクネス・ミハイロヴァ通り。1870年代に建てられた建築物が連なり、ショッピングや観光客など、多くの人でにぎわう。

セルビア共和国シャバツ市 × 富士見市  
姉妹都市&東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン特別企画  
選手を迎える前に知っておきたい  
セルビア共和国の7のこと

問 生涯学習課 オリンピック・パラリンピックグループ ☎633 人権・市民相談課 ☎270

## 市の姉妹都市 セルビア共和国 シャバツ市

セルビア共和国はバルカン半島に位置する国。11世紀のセルビア王国建国以降、近隣の国家との離合集散を経て、平成18年に現在のセルビア共和国となりました。シャバツ市は首都・ベオグラード近郊の人口約12万人の都市です。市との関係は長く、昭和57年から姉妹都市として友好を深めています。姉妹都市提携を結ぶため、初めて市の訪問団がシャバツ市を訪問したのが昭和57年10月の

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までおよそ1年。大会会場の整備や選手たちの受入れなど、日本各地で開催に向けた準備が行われています。市でも、ホストタウンとなったセルビア共和国の選手や関係者を迎えるため、準備を進めています。ホストタウン登録の背景には、姉妹都市であるシャバツ市との長年にわたる交流がありました。今回は、その交流の歴史とセルビア共和国を知るための7つのポイントをお伝えします。

## セルビア共和国 Република Србија / Republika Srbija

首都：ベオグラード  
面積：約88,000km<sup>2</sup>(北海道とほぼ同じ)  
人口：約900万人  
言語：セルビア語、ハンガリー語など  
気候：穏やかな大陸性気候で、日本と同様に四季がある

時差：-8時間  
(サマータイムは-7時間)  
通貨：ディナール(RSD)  
※1RSD≒約1円(2016年現在)  
アクセス：日本からの直行便はなく、ヨーロッパの主要都市経由で約16時間



(参考：セルビア共和国大使館ホームページなど)



## セルビア共和国の シャバツ市などを訪問しました。



星野市長、篠田議長、富士見市国際友好協会牧会長をはじめとする富士見市の訪問団は、シャバツ市との友好関係の深化や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における市での事前キャンプなどについて調整するため、7月8日～11日に現地を訪問しました。



上記コードから動画が見られます。

### 10月23日を「姉妹都市記念日」とする確認書に署名

星野市長はシャバツ市のネボイシャ・ゼレノヴィッチ市長と面会・意見交換を行い、10月23日を姉妹都市記念日とする確認書に署名をしました。

### 事前合宿などについて各協会会長と協定などを締結

セルビア共和国選手団の事前合宿などについて、レスリングはセルビア共和国レスリング協会のジェルコ・トライコヴィッチ会長と、ハンドボールはセルビア共和国ハンドボール協会のボジダル・ジュルコヴィッチ会長と面会し、市民交流とセルビア共和国選手団が最適な環境で事前キャンプができるよう話し合い、協定書などを締結しました。



（左から）セルビア共和国オリンピック委員会ヴァシツキ事務総長、ジェルコヴィッチ会長、星野市長、トライコヴィッチ会長、丸山駐セルビア日本国特命全権大使



ベオグラードとシャバツを流れるサヴァ川  
РЕКА САВА

## 6 各スポーツで有名選手を輩出 スポーツ大国・セルビア

テニスのノバク・ジョコヴィッチやモニカ・セレシュ、サッカーのドラガン・ストイコヴィッチなど、世界トップクラスの選手がセルビアから輩出されています。世界ランキングはバスケットボール4位(男子)、バレーボール1位(女子)、サッカー(男子)はW杯に12回出場し、水球(男子)は前回のオリンピックで金メダルを獲得しています。



©Nenad Negovanovic  
ノバク・ジョコヴィッチ



ドラガン・ストイコヴィッチ

## 7 悠久の歴史を物語る世界文化遺産が点在 歴史大国・セルビア

セルビアに人類の痕跡が見られるのは紀元前4万年。以降、ローマ帝国やビザンツ帝国、オスマン帝国など、周辺の大国や民族の抗争・交流の場として重要な位置を占めていたセルビアには、多様な文化遺産が残っています。

- ① スタリ・ラスとソポチャニ
- ② ストゥデニツァ修道院
- ③ コソボの中世建造物群
- ④ ガレリウスの宮殿ガムジグラード＝ロムリアーナ
- ⑤ 中世墓碑ステチュツィの墓所群



©Dragan Bosnic  
ソポチャニ修道院



## СТУДЕНИЦА

セルビア共和国の世界文化遺産の一つであるストゥデニツァ修道院。13～14世紀に隆盛を極めたビザンティン美術の頂点ともいわれるフレスコ画が聖堂内に多く描かれている。

©Dragan Bosnic

## 5 数多くの温泉地が点在 温泉大国・セルビア

セルビアには、約1,000の源泉と50以上の温泉地があります。医療の専門分野として、患者の症状から適切な湯治の方法を助言する「温泉医」がいます。

## 4 治安はEUの中でも抜群の良さ 安全な国・セルビア

紛争や内戦のイメージが残るセルビアですが、近年は民族・宗教対立による暴動やテロはなく、犯罪発生件数もEU28か国の平均を下回っています。

### 互いに学びあい、より身近な国へ

初来日するとき、日本では生徒が自分たちの学校を清掃するなど、生活に規則や規律があり、とても驚きました。セルビアは人々がのんびりと穏やかで、時にそのおおらかさが恋しくなりますね。

来日後、日本で子育てをしましたが、日本は各所に授乳室やおむつ替え室があり、とても便利でした。一方、セルビアは多世代で子どもを見守り

ます。日本人もセルビア人も、子どもを愛する気持ちは変わらないと感じました。

5月18日のセルビア語・セルビア料理教室では、皆さんと楽しく過ごすことができ、感謝しています。今後も互いに学びあい、子どもの交流や手紙の交換などに発展すればより身近な国になると思います。東京五輪では、皆さんと素敵な時間を共有できることを願っています。



ながと  
長門 テイヤナ さん  
セルビア共和国大使館  
大使秘書



アライ リコ さん  
生涯学習課非常勤嘱託職員  
埼玉大学研究生

### 将来はセルビアと日本の橋渡しに

セルビアでは、日本のアニメは武道などと並んで人気があります。私もアニメで聞いた日本語の美しさに惹かれ、ベオグラード大学で日本語を学び、現在は埼玉大学に通っています。昨年4月の来日前は、日本人は外国人に不慣れだと聞いていましたが、実際はさまざまなことを丁寧に教えてくれました。

セルビア人も客人をもてなす文化があり、共通点を感じました。将来は、セルビアと日本の橋渡しができるような仕事に就きたいと思っています。

セルビアには豪華な商業施設やリゾートは少ないですが、独特な街の雰囲気、穏やかな空気、心を込めたおもてなしがあります。また、日本と同じくとても治安の良い国です。観光はもちろん、心のふれあいを求めて、ぜひセルビアへお越しください。